

# 進路だより

都立永福学園 肢体不自由教育部門

令和4年12月23日 発行

校長 緒方 直彦

No.5 文責 島田裕次郎

日頃から本校の教育に御理解と御協力をいただき、誠にありがとうございます。

## ○「卒業生のお話を聞く会」がありました

中学部3年生と高等部生徒を対象に「卒業生のお話を聞く会」を実施し、卒業後の通所施設の様子や、福祉サービスの活用について知りました。講師は生活介護施設へ通所されている昨年度の卒業生と、4年生大学を卒業後、御自宅で駄菓子屋を営んでいる平成27年度卒業生です。

今年度は、講師の方に事前に作成していただいた資料や、いただいた写真をもとに構成したスライドを、教員が代読する形式で開催しました。講師の皆さんからいただいた多くの写真とコメントから、生徒たちは卒業後の生活をイメージする機会をもつことができました。1月30日（月）～2月3日（金）に予定されている参観週間中に、講師が作成した資料を掲示いたします。

発表資料の一部を御紹介します。



施設にあるベーカリーカフェではトレーを拭いたり、食器の洗浄作業などを行っています。

## パソコンやスイッチの べんきょう

ほうもんOTさんや、  
みんかんのほうもん教育でべんきょう



訓練で2階に上がった時には、いつも事務室へあいさつにいきます。園長にお辞儀をして、あいさつをします。バイバイと手を振ってから戻ります。



## 生徒の皆さんからの質問

①在学中に準備しておくことはありますか？

行きたい進路先の情報を集めたり、見学をしに行ったりしましょう。

②お仕事の内容はどんなことですか？

ボンボンズという駄菓子屋をやっています。内容は主に接客です（現在はコロナ感染防止のため母がお店に出ています）

③お仕事をするうえで大切なことはなんですか？

自分の限界を知って頑張り過ぎないこと。モチベーション維持に繋がります。

# ○「高3進路実習報告会」がありました



11月4日（金）に、高3進路実習報告会を実施しました。3年生は1・2年生や保護者の前で、緊張しながらも堂々と発表をしました。

自分で立てた目標に対する自己評価や、実習での成果等、自身が体験し学んだことを報告することができました。また、その場で出された後輩からの質問に対して、きちんと応える姿が見られ、成長を感じました。

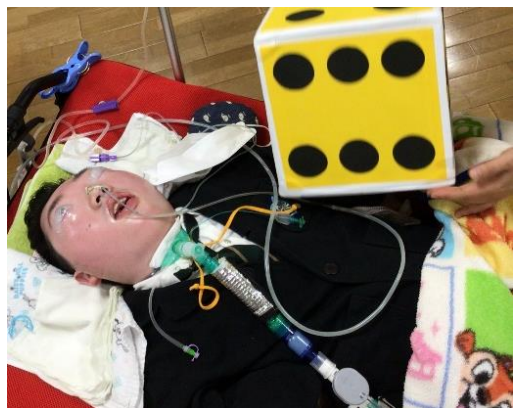
コロナ禍で様々なことに気を付けながら、通学籍9名、訪問籍4名の全員が生活介護施設で実習することができ、本当にうれしく思います。

今後は、進路先との移行支援会議を経て、来年度から新生活のスタートとなります。



<p>もくひょう 目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設のことを知り、施設の人にも自分のことを知ってもらう</li> <li>緊張しすぎずに、自分を出しながら実習に取り組む。</li> </ul>
<p>がんば 頑張ったこと ほめられたこと</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>初めて一緒に活動する支援員さんや、初めての活動に、緊張しすぎることなく取り組むことができた。笑顔を見せて、楽しい気持ちを表現することができた。</li> </ul>

実習の様子  
(一部を紹介します)



冬休みが始まります。子どもたちには、ぜひ家族の一員として役割をもって過ごす時間をもってほしいと思います。また、家族や親せきの方々、ヘルパーさんや友達と・・・、いつもは時間をとってかかわることが少ない方と一緒に取り組むことで、「いつでも・どこでも・誰とでも」できる力につながっていきます。

今までの長期休業中の記録の中から、印象に残った取り組みを御紹介します。参考にしてください。

洗濯物を干すときに、ハンガーを渡しました。

食事の準備(台拭き・箸並べ)をしました。細かい汚れまで気にして拭いていました。

お米を炊きました。お米をこぼさないように目盛まで入れることをがんばりました。お米を研ぐのが難しかったです。

買い物と一緒に行き、指差しで欲しいものを伝えることができました。

家族のために、棒スイッチで家電のON・OFFをしました。